

1. 件 名：日本原子力研究開発機構高速増殖原型炉もんじゅの事業者防災訓練に関する意見交換および緊急時活動レベルの見直し検討について
2. 日 時：令和2年5月29日 13:40～15:30
3. 場 所：原子力規制庁3階 室内会議卓
4. 出席者
原子力規制庁 緊急事案対策室
児玉企画調整官、宮地防災専門官、落防災専門官、岡村係長
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 敦賀廃止措置実証本部
安全・品質保証室 グループリーダー 他5名（テレビ会議システムによる出席）
5. 要 旨
○事業者防災訓練に関する意見交換
日本原子力研究開発機構から、令和2年2月18日に実施した高速増殖原型炉もんじゅの原子力事業者防災訓練で確認された問題点・課題、原因分析、原因分析及び対策について、前回の面談（5月29日）を踏まえて再度説明があった。（資料1）
原子力規制庁より、問題点・課題、原因及び対策について再度よく整理すること、具体的な対策を検討し今後の原子力防災対策に向けた改善点として防災訓練実施結果報告書にまとめるように伝えた。
日本原子力研究開発機構から、防災訓練実施結果報告書としてまとめるとの回答があった。
○緊急時活動レベルの見直し検討
日本原子力研究開発機構から、高速増殖原型炉もんじゅの緊急時活動レベルの見直し検討について説明があった。（資料2）
原子力規制庁より、SE51及びGE51について、もんじゅの状態を踏まえ、炉内の液位を監視するために必要な場所を再度整理するように伝えた。
6. その他
配付資料： 資料1 令和元年度 高速増殖原型炉もんじゅ総合防災訓練（2/18）における課題対応について（日本原子力研究開発機構）
資料2 原子炉冷却材液位確保の考え方について（日本原子力研究開発機構）